

2018年10月22日

顔認証による利用権限の制御で、 リコー製 複合機やレーザープリンターのセキュリティーを強化

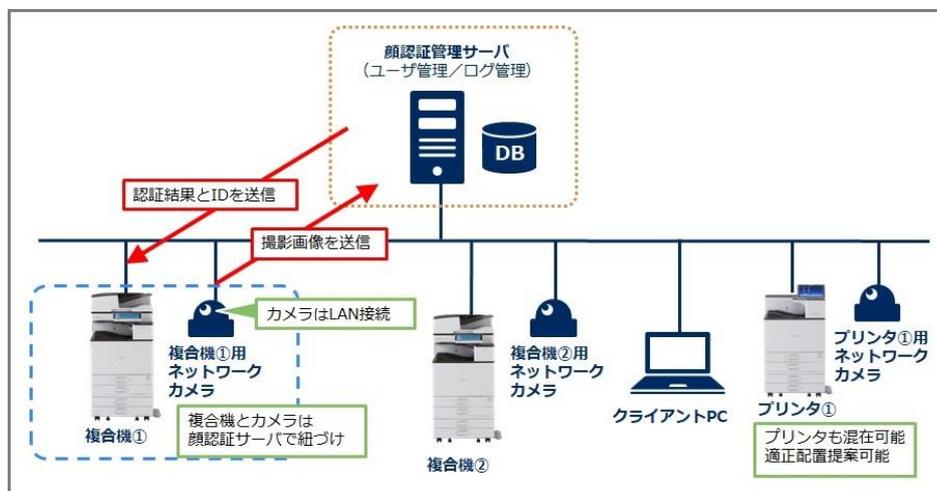
株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)は、「リコー 個人認証システム AE2」と、日本電気株式会社(代表取締役 執行役員社長 兼 CEO:新野隆)の世界最高水準の顔認証管理システムを連携することで、従来の IC カードや手入力に加えて顔認証への対応を実現しました。この連携システムの提供は 11 月 9 日に開始します。

近年、戸籍情報を扱う官公庁や、経済への影響が大きく機密性の高い情報を扱う金融機関などの民間企業において、情報漏洩に対する危機感が高まっています。セキュリティー強化の手段として IC カードによる認証が普及している中で、より高いセキュリティーを求める組織では入退や勤怠管理などに「生体認証」の導入が始まっています。さらには、複合機やレーザープリンターの利用権限認証にも「生体認証」による強固なセキュリティーが求められ始めています。

顔認証は、普段から露出し相手を判別している顔で認証を行うため、利用者の心理的な負担が少なく、受け入れられやすい生体認証として注目されています。

顔認証との連携により、利用者は複合機やレーザープリンターの脇に設置したカメラに顔を向けるだけで、簡単に認証を行うことが可能です。また、印刷認証だけでなく、スキャナーやコピー機能などの利用権限制御を行うことが可能です。

こうした特徴から、官公庁や金融機関のお客様に加え、「すでに入退・勤怠管理や PC のログオンなどに顔認証を導入しているが複合機やプリンターのセキュリティーも顔認証で統一したい」といったお客様や、「工場で IC カードは機械に巻き込まれそう」、「衛生上、IC カードが使えない」といった業種業務上 IC カードの利用が適していないお客様へも拡販してまいります。



顔認証対応「リコー 個人認証システム AE2」のシステム構成図

株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp
 お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL : 0120-892-111

＜顔認証対応「リコー 個人認証 AE2」の主な特徴＞

1. 顔認証による複合機やレーザープリンターのセキュリティ強化

- ・ 顔認証により機器の利用および、個人ごとに利用できる機能(プリント、スキャン、コピー、機器の管理機能)を制御することが可能です。
- ・ 複合機やレーザープリンターの脇に設置されたカメラで顔認証された利用者の印刷物だけが出力可能なため、印刷物の持ち去りや取り忘れを防ぐことが可能です。

2. 顔認証による利用者に負担が少ない利用権限制御

- ・ 顔は、普段から人間が相手を判別する手段として利用されており、利用者の心理的負担が少ない認証方式です。
- ・ 顔をカメラに向けるだけで、特別なユーザー操作を強いることなく、利便性に優れた認証が可能です。
- ・ 照合時の顔を「顔画像ログ」として残すなど、管理者が目視確認することも可能で、高い不正抑止効果が期待できます。

※会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2018年3月期リコーグループ連結売上は2兆633億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>